



グッドキャリア企業アワード2022

イノベーション賞

[厚生労働省人材開発統括官表彰]

社会福祉法人 平鹿悠真会



評価の ポイント

女性の多い職場として、ワークライフバランスに配慮した働きやすい職場作りと、研修制度や資格取得支援による専門性の向上を両立

経営者からのメッセージ

良いケアを目指すにはまず働きやすい環境づくりが重要であると考えます。その働きやすい環境は継続雇用や人材育成の面にも必ず繋がってきます。今回の受賞を機にさらに職員も法人もステップアップして参ります。



理事長
西成 忍

企業概要

事業概要：福祉事業
(特別養護老人ホーム・
居宅介護支援事業所の運営)

業 種：社会保険・社会福祉・介護事業
所 在 地：秋田県横手市

従業員数：37人(男性8人/女性29人、
うち非正規雇用2人)

平均年齢：43歳

創 業 年：2014年

キャリア形成支援担当者紹介

キャリア形成支援の取組をして良かったこと

自分に合ったキャリアを選択することで働きやすい職場となり、ワークライフバランスの向上にも繋がっていると感じます。

キャリア形成支援の取組で苦労したこと

スタッフそれぞれの家庭環境があり、そのスタッフに合ったアプローチを考えることが難しいと感じました。



介護支援部門 統括ユニットリーダー
佐々木 充晃
担当年数：8年

取組をはじめたきっかけとこれまでの経緯

介護施設に勤務する職員は、体力的に、家庭と仕事を両立しながらキャリアを積み上げることが困難であり、優秀であっても介護職から離脱する場合があります。そのような環境でもスキルアップやモチベーションを向上させ、働きやすい環境を構築し、ワークライフバランスを保てるように、様々な取組を新設したり、変革を実施してきました。いかにして主体的にキャリアを積み上げるかということを考えながら取り組んでいます。

具体的な取組

WLBに配慮した職場環境づくりと専門性の向上の両立

産休育休希望者に数回の「育児面談」を実施し、復帰後の働き方、「事業所内託児所」利用の有無、会議録送付等を確認、説明を行い、不安なく復帰できるよう支援しています。それにより育休後に「短時間勤務」から徐々に産休前の働き方に戻すことも可能です。子供が体調を崩した場合などは、「多目的休暇」や「勤続年数に応じて有給化した子の看護休暇」も利用可能です。また専門性のある国家資格等の取得に挑戦する職員を歓迎し、「人材育成面談」を通じて、取得への情報提供や費用助成の説明をし、合格への支援を行いながら、専門性の向上が図られる様、後押ししています。最終的には育て続けられる、学び続けられる、そして働き続けられる環境を構築していきます。



▲面談



▲介護福祉士実務者研修



▲育児書類



▲モチベーション向上研修

取組の効果

職員への取組の浸透とトリプル 100%の達成

取組を継続した結果、職員への取組の認知度が増すことにより、事業所内託児所利用で産休前の働き方を維持したりして復帰率は創設以来 100%。特別休暇である多目的休暇も令和 3 年度は 100%を達成しています。また平成 29 年度より進めてきた資格支援制度を利用して国家資格等専門資格取得者は 9 名と増加しています。これにより介護職員 21 名全員が介護福祉士保有者となり 100%を達成することができました。

今後の課題と展望

長く働ける場としての位置づけへのさらなる挑戦

介護施設職員は家庭環境の変化などにより離職が多い、長く働ける業種ではないという風潮を根底から覆し、様々な取組や変革によって長く働ける場としての位置づけでありたいと考えます。「介護職も悪くはない」「これだったら働けるな」と思ってもらえるような地域のランドマークとしての役割を担うことを意識して、今後も継続雇用のための様々な取組を行い、組織と個人が発展するようさらなる挑戦を目指します。

社員の声

Q1

自身のキャリアを考えるきっかけ(制度・出来事など)とは?

Q2

その後、取り組まれたことや起こった変化とは?

Q3

築いたスキルを今後どう活かしていくか、または将来ありたい姿とは?



介護支援部門
小西 優美

A1

託児所を利用しながら働ける環境であることに魅力を感じ入職しました。入職後に 2 人目、3 人目を出産し、復帰後は短時間勤務を活用しながら、3 人の子育てと仕事を両立することができました。

A2

ユニットリーダーを任せてもらえるようになり、子育てをしながらでも女性管理職として働くことができ、自信に繋がりました。キャリアに応じて様々な研修にも参加させてもらい成長することができています。

A3

子育てをしながらでも自信をもって楽しく働ける環境づくりに携わっていきたいです。そして様々な資格を取得しスキルアップしながら、引き続き福祉の仕事に携わり、誰かの役に立てるように頑張りたいです。



介護支援部門
佐々木 祥子

A1

平鹿悠真会に入職し、ご利用者一人一人に寄り添ったケアが自分が求める理想の介護であると確信しました。そのケアを学ぶ機会とそれらを実践する環境を与えていただいたことがきっかけです。

A2

ユニットリーダー研修に参加し、自らのスキルアップを図ることができました。職員一人一人の意見を取り入れて、様々な視点から個別支援のあり方を見直すことができています。

A3

上司としての立場から時に見守り、個人の意見を言い出しやすい環境を整えたいです。また、研修などで全員が成長し自信に繋げ、それぞれが発信することでより良い介護を目指したいと考えています。